



金谷 拓実
Takumi Kanaya

PING契約 金谷拓実選手は、11月28日～12月1日に開催された国内男子ツアー最終戦「ゴルフ日本シリーズJTカップ 2024」にて、3位に入り¥10,000,000を獲得し、賞金ランキング2位から逆転賞金王に輝きました。プロ転向後の2021-2022年シーズンは賞金ランキング2位、2023年シーズンは3位。3度目の今シーズンにて悲願の賞金王を掴み取りました。

今シーズン、パーオン率1位の金谷選手が見せたプレーは庄巻で、今大会首位と5打差で迎えた最終日、操作性と寛容性を兼ね揃えた i230 アイアンでグリーンを正確に狙い、バーディーチャンス作りながら首位との差を詰め、17番ホールでは2オンに成功し、約10mのイーグルパットを沈めて一時、2位タイに浮上。最終ホールまで集中力を絶やすことなく貫いた金谷選手は、通算9アンダーの単独3位に入り、賞金王を手に入れました。

金谷選手は、「賞金ランキング」のほか、「メルセデス・ベンツトータルポイントランキング」「平均ストローク」「パーキープ率」「パーオン率」「トータルドライビング」の5部門で1位を獲得。来シーズンも金谷選手の活躍にご期待ください。

金谷 拓実選手 クラブセッティング

ドライバー	G410 PLUS(9度)
FW	G410 LST(#3)
ハイブリッド	G410(19度)
アイアン	G710(#5)、i230(#5-#9、PW)
ウェッジ	GLIDE FORGED PRO(52度S、58度S、60度S)
パター	SIGMA 2 ARNA

信頼できるクラブで掴んだ初の“賞金王” ジュニア時代からPINGを使用する金谷拓実選手にインタビュー

■賞金王になった感想は？

ルーキーの時と昨年も賞金王に届かず、より賞金王というものの重みを感じていました。その様なプレッシャーの中でも自分らしいプレーを続けて、それを貫き通せたと思います。本当に賞金王を取れて良かったです。

■2024年シーズンはどんなシーズンでしたか？

シーズンの始めは賞金王というより、目の前の1試合1試合に集中して、優勝を積み重ねて行ければいいなと思っていました。シーズンが進む中で今年は、部門別でもパーオン率がすごく良く、その中でもi230でのアイアンショットは1年通して調子が良かったです。

■金谷選手が思うPINGのクラブとは？

ジュニア時代からPINGのクラブを使用していますが、どのクラブも“やさしい”クラブで、難しい状況でもクラブが本当に助けてくれます。特に、アイアンショットでは、グリーンが硬くてもラフでもフェアウェイでも、クラブの“やさしさ”があるので自分で技術を出そうとしなくてもクラブが技術を引き出してくれます。そういった信頼があるのでどんな状況でも安心して打つことができ、今シーズンもクラブにたくさん助けてもらいました。

注目ギア

金谷選手の活躍を支えたi230 アイアン！

心地良い打感とどんなシチュエーションでも安定したスピン性能を実現するi230アイアンは、ヘッドもコンパクトで操作性に優れたシャープな形状のセミブレードながら、トゥとヒール側の2か所にウェイトを搭載し、ミスヒットにも強い“やさしさ”も兼ね揃えています。

「アイアンに求めるのは操作性とやさしさと高さ。「i230」アイアンは自分のスイングにおいてストレス無く気持ち良く振れて、理想とする弾道を実現することができます。」(金谷選手)

